

菊池市観光振興ビジョン
実行計画中間評価報告書

2022年11月
熊本県 菊池市

目次

I 評価総括	- 1 -
1. 全体評価	- 1 -
2. 基本方針別評価	- 1 -
II 効果検証結果	- 2 -
1. 効果検証結果の見方等について	- 2 -
2. 計画の指標	- 3 -
III 3つの視点と9つの基本方針	- 4 -
1. 引き込む力	- 5 -
(1) ブランドイメージの確立・向上	- 5 -
(2) マーケティングの強化・活用	- 7 -
(3) プロモーションの強化	- 8 -
2. 稼ぐ力	- 10 -
(1) 観光資源の発掘と磨き上げ	- 10 -
(2) 回遊性を高め滞在時間の延伸を図る	- 12 -
(3) 本市を支える担い手の育成	- 14 -
3. 継続する力	- 15 -
(1) シビックプライドの醸成	- 15 -
(2) 受入環境の整備	- 16 -
(3) 観光推進体制づくり	- 17 -

I 評価総括

1. 全体評価

2022 年においても度重なるまん延防止等重点措置等による行動制限に伴い国内旅行需要が減少となるなど、新型コロナウイルス感染拡大は、観光関連産業に甚大な影響を与えている。

令和 4 年 1 月～6 月期の本市観光入込客数（速報値）は約 171.7 万人となり、中間目標値に対して 44.9%の達成率となった。（令和元年同期比 1,676,080 人、2.4%増、前年同期比 1,200,725 人、43%増）

また、令和 4 年 1 月～6 月期の宿泊者数（速報値）は約 4.1 万人となり、中間目標値に対して 23.2%の達成率となっている。（令和元年同期比 94,060 人、55.5%減、前年同期比 23,828 人、75.4%増）

前年に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けやすい状況下にあるが、本市が持つ地域資源の魅力が失われたものではなく、本市の特性を生かした観光による持続可能な魅力あふれるまちづくりに向け、全市一体となって中長期的かつ戦略的な視点で観光振興に取り組むことが重要である。

2. 基本方針別評価

基本方針 I - 1「ブランドイメージの確立・向上」については、「菊池らしさ」の象徴でもある菊池溪谷や菊池温泉、農産物、歴史文化のブランドイメージの確立を図るため、ストーリー性を高めたプロモーションに取り組み、ブランドイメージの確立を図った。

今後は、さらに訴求力の高いプロモーションに取り組むほか、国の制度変更に伴う菊池基準制度の見直しや日本遺産認定更新に伴う地域活性化計画の策定など、行政が主導して方針を策定するものについて取り組む必要がある。

基本方針 I - 2「マーケティングの強化・活用」については、定期的な観光統計調査等による本市観光振興の現状把握に取り組んだ。

今後は、デジタルを活用したマーケティング調査による様々なデータの収集により、ターゲット層に応じた効果的なプロモーションの強化及び来訪者情報の分析による効果的な戦略策定に生かしていく必要がある。

基本方針 I - 3「プロモーションの強化」については、広域自治体、市内観光関連事業者、菊池ファンクラブなど様々な主体と連携し、本市観光関連情報の露出機会の増加に繋がった。

今後は、来訪者の来訪意欲の創出を図るため、最新技術等のデジタル技術を活用した PR コンテンツの充実及び発信力の強化に取り組むことが重要である。

基本方針 II - 1「観光資源の発掘と磨き上げ」については、様々な地域資源を組み合わせた体験コンテンツの造成、市内施設の利活用等、市内滞在機会の創出に繋がった。

今後は、来訪者のニーズを反映させ、更なる磨き上げに取り組むとともに、回遊性の向上及び経済活性化に繋がるよう、「稼げる」観光資源の発掘・磨き上げに取り組むことが重要である。

基本方針 II - 2「回遊性を高め滞在時間の延伸を図る」については、既存店舗の魅力増進に向けた取組み等がやや不十分なものもあったが、新たな旅のスタイルであるワーケーションの推進に向けた環境整備及び体験コンテンツの開発、食・温泉・自然を組み合わせた新たなキャンプスタイル「温キャン」の PR、市民主導型イベントの開催等、「菊池ならではの」コンテンツ造成による滞在時間の延伸に繋がった。

今後は、観光資源の発掘と磨き上げの取組みとの連動を図り、本市全体で稼げるまちづくりに向けた取組みを推進していくことが必要である。

基本方針 II - 3「本市観光を支える担い手の育成」については、地域の稼ぐ力を育むため、事業承継者及び新規事業者等に対する支援として各種セミナー等の開催に取り組んだほか、関係人

口・移住施策と絡めた新たな担い手の掘り起しに向けた取組みを推進し、本市観光を支える担い手となる人材の掘り起しに繋がった。

今後は、これらの取組みを継続的に推進し、滞在時間の延伸に係る取組み、観光資源の発掘・磨き上げ、シビックプライドの醸成に係る取組みと連動しながら、まち全体でもてなす機運の醸成を図ることが重要である。

基本方針Ⅲ-1「シビックプライドの醸成」については、菊池川流域日本遺産や菊池一族の歴史の講座等を市民向けに開催し、本市の自然や歴史文化といった地域資源に触れる機会の創出に繋がった。

今後は、まち全体で観光によるまちづくりに取り組む土壌をつくるべく、これらの取組みを継続的に推進し、市民一人ひとりが菊池の魅力や文化を知り、親しむ機会の拡充を図ることが重要である。

基本方針Ⅲ-2「受入環境の整備」については、菊池渓谷を中心とした地域資源の多言語解説文整備、情報及び交通インフラの整備、市内店舗のキャッシュレス化推進等、来訪者の利便性向上に繋がった。

今後は、これらの取組みを継続的に推進し、来訪者の誰もがストレスなく本市観光を楽しむことができるよう観光関連団体等と連携して整備していくことが重要である。

基本方針Ⅲ-3「観光推進体制づくり」については、地域の稼ぐ力を引き出すため、市民を交えたまちづくり交流会の開催、観光分野における民間人材の活用、地域住民等によるイベント開催支援など、観光によるまちづくりに主体的に取り組む人材の発掘・育成に繋がった。

今後は、地域の稼ぐ力を引き出すとともに、「観光地経営」の視点にたった地域活性化の仕組みを検討すべく、具体的な方向性を関係団体と意見交換する機会を重ねていく必要がある。

II 効果検証結果

菊池市観光振興ビジョン（以下、「ビジョン」という。）に掲げるありたい姿の実現のため、基本方針ごとの取組みの進捗状況や達成度を管理し、ビジョンの着実な推進を図ることを目的とする。

1. 効果検証結果の見方等について

(1) 評価総括

各基本方針の主な取組成果及び課題を総合的に分析したもの。

(2) 計画の指標

① 計画の指標と進捗状況

ビジョンの実現のため、実行計画を推進していく指標と数値を設定したもの。令和2年を基準値とし、令和7年を中間目標値、令和11年を目標値に設定した。

(3) 基本方針

① 具体的な取組

基本方針を構成する具体的な取組を示したもの。

② 取組の方針毎の評価と課題

各実施主体による当該年度の主な取組及び事業進捗状況等（取組の評価、取組み状況、課題）を表記したもの。

取組み評価は、令和4年度（4月から9月末時点）の事業進捗状況を総合的に判断し、下記の5段階評価とする。

【参考：事業進行管理シート評価基準】

「◎（順調）」・・・目標を達成し、成果が十分に上がっている

「○（概ね順調）」・・・いくつかの問題は見受けられたが、概ね目標を達成できた

「△（やや遅れ）」・・・目標達成にはやや不十分であった

「×（遅れ）」・・・目標達成には程遠く、成果も上がっていない

「—（再検討）」・・・外的要因等により、評価ができない

2. 計画の指標

計画の指標と進捗状況（上段：実績値、下段：達成率）

	基準値 (R 2)	中間目標値 (R 7)	目標数値 (R 1 1)	R 4年 速報値 (R4.6月末)	<参考> R 3年実績値
観光入込客数 (人)	2,564,254	3,820,000	4,050,000	1,717,886	2,426,263
				44.9%	
宿泊者数 (人)	79,904	180,000	200,000	41,809	73,263
				23.2%	
観光消費額 (億円)	151.3	163.8	177.3	-	-
				-	-

<補足>

- ・令和4年速報値は、令和4年1月から6月までの数値。下段には中間目標値（R7年）に対する達成率を記載。

Ⅲ 3つの視点と9つの基本方針

ビジョンに掲げた3つの視点と9つの方針を踏まえ、観光振興に係る取組をより具体化し、具体化した各取組については、各主体間で相互に連携・協力を図り、全市を挙げて一体的かつ横断的に推進していく。

特に、以下の取組を本実行計画において重点的に取り組む施策と位置付け、ビジョンに掲げる目指す将来像の実現に向けて、各主体間における連携・協力のもと、より一層の推進を図る。

- ◆ 取組番号 1-(1)-① : 菊池渓谷を中心としたSDGsの取組推進
- ◆ 取組番号 1-(1)-③ : 安全安心の食の提供（環境王国菊池基準等）
- ◆ 取組番号 2-(1)-① : 地域資源を活用した高付加価値旅行商品・体験プログラムの造成（ヘルスツーリズム事業、ナイトタイムコンテンツ等）
- ◆ 取組番号 2-(2)-③ : かわまち・もりまち・はなまちづくりの推進
- ◆ 取組番号 3-(1)-③ : まち全体でもてなす機運の醸成（観光について学ぶ機会の創出等）

観光振興ビジョン実行計画の体系図

ありたい姿	視点	方針	関連する取組
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">自然と歴史が紡ぐ「癒しの里山」きくちく 今日も明日もその先も、アナタと創るキーンなまち</p>	1. 引き込む力 > 多くの人たちに「菊池に行ってみよう」と思わせるためには、本市へと「 引き込む力 」が必要不可欠 > ブランドイメージの確立等により、「 引き込む力 」を高める	(1) ブランドイメージの確立・向上 (2) マーケティングの強化・活用 (3) プロモーションの強化	① 菊池渓谷を中心としたSDGsの取組推進 ★ ② 「菊池温泉郷」として全市的なブランドイメージづくり ③ 安全安心の食の提供（環境王国菊池基準等） ★ ④ 本市ならではの歴史文化の継承（菊池川流域日本遺産・菊池一族等） ① インターネット・IT技術等のデジタルツールを活用したマーケティング（デジタルマーケティング） ② 市内観光施設における来訪者等アンケート調査・分析 ③ 観光関連データのオープンデータ化 ① 様々な主体（市内小中高生・県内大学生、民間事業者、広域自治体等）と連携したプロモーション活動 ② 情報発信手法の多角化（菊池FC、SNS、動画サイト広告等の活用） ③ パブリシティ（マスメディア等を通じた情報発信）の強化 ④ ターゲット層（エリア・属性・関心高い資源等）に応じたプロモーション強化 ⑤ 観光・イベント関連情報の一元化 ⑥ 最新技術（ドローン等）等を活用したPRコンテンツの充実
	2. 稼ぐ力 > 観光を持続的な地域経済の発展につなげていくためには「 稼ぐ力 」が必要不可欠 > 観光資源の発掘・磨き上げ等により、「 稼ぐ力 」を高める	(1) 観光資源の発掘と磨き上げ (2) 回遊性を高め滞在時間の延伸を図る (3) 本市観光を支える担い手の育成	① 地域資源を活用した高付加価値旅行商品・体験プログラムの造成（ヘルスツーリズム事業、ナイトタイムコンテンツ等） ★ ② 歴史・文化施設の利活用 ③ 観光分野における農業の活用（農泊、農業体験） ④ 特産品を使用した「売れる商品」の開発 ⑤ 菊池温泉の魅力化（景観整備等） ⑥ スポーツ施設等を活用したスポーツコンベンションの誘致 ① 温泉・アウトドア拠点を活用したワーケーションの推進 ② 二次交通手段の整備（シェアサイクル（レンタサイクル）利活用、回遊バス運行等） ③ かわまち・もりまち・はなまちづくりの推進 ★ ④ 新規飲食店参入の推進や既存店舗の魅力増進 ⑤ 食（酒含む）・温泉を組み合わせたイベントの開催 ⑥ 集客力ある市民主導型イベントの開催（市内既存施設等の活用）
	3. 継続する力 > 将来にわたって、本市に関心を持ち、また訪れたい、交流したいと思う人々を増やし、地方創生へつなげていくためには、「 継続する力 」が必要不可欠 > シビックプライドの醸成等により、「 継続する力 」を高める	(1) シビックプライドの醸成 (2) 受入環境の整備 (3) 観光推進体制づくり	① 市内小中高生向け地域を知る授業の実施 ② まつりの魅力化・関心度向上 ③ まち全体でもてなす機運の醸成（観光について学ぶ機会の創出等） ★ ④ 市民ガイドの発掘・育成【再掲】 ① 観光案内看板の整備（ピクトグラムの活用等） ② 安全に観光できる基盤の整備（災害時情報発信等） ③ 観光施設等の利便性向上（キャッシュレス決済導入、Wi-Fi整備、多言語対応、トイレ洋式化等） ④ まち全体でもてなす機運の醸成（観光について学ぶ機会の創出等）【再掲】 ⑤ 菊池温泉の魅力化（景観整備等）【再掲】 ① DMO設立の検討 ② 観光事業者等の主体性づくり（観光人材育成） ③ 観光関連事業者等における定期的な意見交換機会の創出 ④ 観光分野における民間人材の活用 ⑤ まち全体でもてなす機運の醸成（観光について学ぶ機会の創出等）【再掲】 ⑥ 集客力ある市民主導型イベントの開催（市内既存施設等の活用）【再掲】

★・・・重点的な取組として選定

1. 引き込む力

(1) ブランドイメージの確立・向上

① 菊池渓谷を中心としたSDGsの取組推進 <重点>

【具体的な取組】

- ・協力金を活用した森林環境保全の推進（行政）
- ・菊池渓谷ビジターセンターでのSDGsの取組に関する情報発信（行政）
- ・市内小中学校等でのSDGs普及啓発に向けたワークショップ等の開催（行政）

② 「菊池温泉郷」として全市的なブランドイメージづくり

【具体的な取組】

- ・本市HP、SNS等を活用した情報発信（行政）
- ・ターゲット層に向けた複数媒体を組み合わせた情報発信（行政）
- ・観光事業者向けのおもてなし研修の開催（行政）
- ・観光関連事業への参入促進支援（商工会等）

③ 安全安心の食の提供（環境王国菊池基準等） <重点>

【具体的な取組】

- ・農政課営農指導員による栽培技術指導（行政）
- ・くまもとグリーン農業と併せた菊池基準の登録推進（観光関連事業者・行政）
- ・安全・安心な農畜産物の安定供給（農林畜産事業者等）
- ・旬産旬消PRの実施（農林畜産事業者等・行政）
- ・飲食店における地産地消の促進（商工会等）
- ・菊池基準の認知度向上に向けた定期イベントの開催（観光関連事業者・行政）
- ・菊池基準農産物の販売・提供店舗によるスタンプラリー等の実施検討（商工会等）

④ 本市ならではの歴史文化の継承（菊池川流域日本遺産・菊池一族等）

【具体的な取組】

- ・日本遺産認定更新に向けた地域活性化計画の策定（行政）
- ・本市歴史文化に関する生涯学習出前講座の開催（行政）
- ・菊池一族パネルの巡回展示（行政）
- ・広報誌等を活用した情報発信（行政）

◆ 事業進捗状況と課題

取組み 評価	○（概ね順調）
取組み 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・協力金を活用した森林環境保全の推進等に繋がったほか、民間企業と連携した市内小中学校向けSDGsの普及啓発活動、水力発電の仕組みを解説するパネルを菊池渓谷ビジターセンターに設置し、SDGsの目標達成に向けた取組みを発信した。【行政】 ・熊本都市圏及び福岡都市圏をターゲットに、菊池温泉をはじめとした観光資源を情報誌等に掲載した。また、観光関連事業に関する業態転換・事業再構築に向けた相談受付などの支援を行った。【行政・商工会等】 ・本市農林畜産物のブランドイメージ向上のため、関係団体と連携し、スタンプラリー等のプロモーションに取り組んだ。【農林畜産事業者等・商工会等】 ・本市ならではの歴史文化（菊池川流域日本遺産、菊池一族）に関する出前講座、公民館講座等を市民向けに10回開催し周知啓発を行った。【行政】

課 題	<ul style="list-style-type: none">・SDGs の取組みに関する情報発信内容の充実。関係団体間における SDGs 推進に向けた取組みの連携。・菊池基準の要件となっているエコファーマー制度の廃止に伴い、菊池基準制度を見直す必要がある。新制度の国の方針決定を踏まえ再度検討する。
-----	--

(2) マーケティングの強化・活用

- ① インターネット・IT 技術等のデジタルツールを活用したマーケティング（デジタルマーケティング）の導入
 【具体的な取組】
 ・デジタル媒体等を活用したマーケティングによる観光コンテンツの磨き上げ（行政）
 ・SNS等のデジタル媒体を活用した情報発信の強化（観光関連団体・行政）
- ② 市内観光施設における来訪者等アンケート調査・分析
 【具体的な取組】
 ・観光消費額調査（行政）
 ・市内観光施設等における来訪者アンケート調査（行政）
- ③ 観光関連データのオープンデータ化
 【具体的な取組】
 ・市内経済実態調査（行政）
 ・観光関連統計調査及び本市HP公開（行政）
 ・既存オープンデータリソースを活用した地域経済・地域特性等の分析（商工会等）

◆ 事業進捗状況と課題

取組み 評価	○（概ね順調）
取組み 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体から提供される旬の情報やイベント情報を SNS 等の各種媒体を活用して情報発信を行った。【観光関連団体】 ・市内主要観光施設を対象とした観光統計調査の実施及び市内来訪者を対象とした観光消費額調査を実施予定。また、市が保有する各種データや統計情報等を公開し、データ活用の促進に繋がった。【行政】 ・RESAS（地域経済分析システム）やMieNa（市場情報評価ナビ）等を活用して業態転換・事業再構築の相談対応を行った。【商工会等】
課題	・デジタルツールを活用したマーケティングの導入検討。

(3) プロモーションの強化

- ① 様々な主体（市内小中高生・県内大学生、民間事業者、広域自治体等）と連携したプロモーション活動
 - 【具体的な取組】
 - ・南北朝・菊池一族をテーマとしたフォーラムの開催（行政）
 - ・菊池ファンクラブ・オンライン交流会の開催（行政）
 - ・菊池川流域日本遺産のプロモーション（行政）
 - ・広域自治体と連携したプロモーション（行政）
- ② 情報発信手法の多角化（菊池 F C、S N S、動画サイト広告等の活用）
 - 【具体的な取組】
 - ・市 S N S、動画サイト等を活用した情報発信の強化（行政）
 - ・菊池ファンクラブ協議会と連携した会員向け情報発信の強化（行政）
 - ・菊池ファンクラブ会員向け情報発信の強化（観光関連団体）
- ③ パブリシティ（マスメディア等を通じた情報発信）の強化
 - 【具体的な取組】
 - ・定例記者会見を通じた情報発信の強化（行政）
 - ・情報発信強化をテーマとした職員研修会の開催（行政）
- ④ ターゲット層（エリア・属性・関心高い資源等）に応じたプロモーション強化
 - 【具体的な取組】
 - ・ターゲット層に応じた情報発信の強化（観光関連団体・行政）
- ⑤ 観光・イベント関連情報の一元化
 - 【具体的な取組】
 - ・市 H P のリニューアルを通じた観光・イベント関連情報の一元化（行政）
 - ・多様な主体と連携した情報共有及び情報発信（行政）
- ⑥ 最新技術（ドローン等）等を活用した P R コンテンツの充実
 - 【具体的な取組】
 - ・V R を活用した P R コンテンツ制作（行政）
 - ・市職員を対象としたドローン操作研修会への参加（行政）

◆ 事業進捗状況と課題

取組み 評価	◎（順調）
取組み 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・県北地域を中心に広域連携による観光プロモーションを実施し、本市の露出機会の拡大を図った。【行政】 ・各種 SNS を活用した旬の情報を発信し「旅マエ」における情報発信の強化を図ったほか、本市へのコアファンを獲得するため、菊池ファンクラブ入会キャンペーンを実施した。（市 FB フォロワー数 7,244、市 Twitter フォロワー数 1,569、市 Instagram フォロワー数 2,513、菊池ファンクラブ会員数 2,230 人(9 月 末時点)）【行政・観光関連団体】 ・マスメディア等を通じた情報発信の強化を図るため、定例記者会見及び積極的なプレスリリースの配信に取り組んだほか、観光情報等の一元化に向け、関係

	<p>部署と協議を行いながら市ホームページのリニューアルに取り組んだ。【行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本都市圏及び福岡都市圏を中心に、各種情報媒体を活用したプロモーションに取り組んだ。また、観光関連団体が持つ観光関連情報を相互に連携して発信し、情報発信力の強化を図った。【行政・観光関連団体】 ・オンラン会議ツール「zoom」を活用し、現地からのライブ中継及びドローン撮影動画でつなぐリアル感のあるインバウンドオンラインツアー実施に向け、関係者と協議を進めている。【行政】
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・最新技術等を活用した PR コンテンツの充実及び発信力の強化。

2. 稼ぐ力

(1) 観光資源の発掘と磨き上げ

①地域資源を活用した高付加価値旅行商品・体験プログラムの造成（ヘルスツーリズム事業、ナイトタイムコンテンツ等）＜重点＞

【具体的な取組】

- ・ヘルスツーリズムツアーの販売促進（観光関連団体・行政）
- ・地域資源を活用した健康意識の醸成（行政）
- ・地域資源を生かしたアウトドアイベントの開催（行政）
- ・斑蛇口湖公園周辺におけるイベント開催等の支援（行政）
- ・サイクリング及びフットパスマップ制作（行政）
- ・農業をはじめとした菊池地域色のある仕事と観光を切り口とした交流人口の拡大（行政(県)）

②歴史・文化施設の利活用

【具体的な取組】

- ・菊池川流域日本遺産の構成文化財を巡るツアー造成に向けたプロモーション（行政）
- ・南北朝・菊池一族関連自治体を巡るデジタルスタンプラリーの実施（行政）
- ・鞠智城跡の認知度向上に向けたイベント等の開催（行政）
- ・菊池一族及び刀剣をテーマとしたイベント開催（観光関連団体）

③観光分野における農業の活用（農泊、農業体験）

【具体的な取組】

- ・「きくちふるさと水源交流館」における農業体験等の取組支援（行政）
- ・農業体験を含めた市内農産物オーナー制度等の検討（観光関連団体）

④特産品を使用した「売れる商品」の開発

【具体的な取組】

- ・ものづくり勉強会、加工品相談会の開催（行政）
- ・新商品開発（日本酒等）及び既存商品の販売強化に向けたPR（農林畜産事業者等）
- ・新商品開発・既存商品改良及びEC流通に関する個別セミナーの開催（商工会等）
- ・販路拡大に向けた物産展の開催（商工会等）
- ・特産品ポータルサイト「KIKUTOKU」による情報発信（商工会等）

⑤菊池温泉の魅力化（景観整備等）

【具体的な取組】

- ・観光関連事業者を対象としたおもてなし研修会の開催（行政）
- ・一家一花及びグリーン市民事業の導入に向けた検討（行政）
- ・ガーデニングコンテストの開催（行政）
- ・森まち候補地及び植栽デザインの検討（行政）

⑥スポーツ施設等を活用したスポーツコンベンションの誘致

【具体的な取組】

- ・関係団体との連携によるボート競技大会の開催（行政）
- ・大会開催に向けた観光関連事業者等との情報交換（観光関連団体・行政）

◆事業進捗状況と課題

取組み 評価	○（概ね順調）
取組み	・健康ポイント事業と連携したヘルスツーリズムツアーを実施し、健康意識の醸成

状 況	<p>及び誘客促進に繋がった。また、菊池溪谷ライトアップイベントを企画し、新たな観光コンテンツの造成を図った。【観光関連団体・行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年ぶりに開催した竜門ダムフェスタでは夜間開催による竜門ダム周辺の新たな魅力創出に繋がったほか、サイクリングコースの見直しに取り組み、観光資源の磨き上げに取り組んだ。【行政】 ・菊池一族関連施設や鞠智城でデジタルスタンプラリーを実施し、歴史文化施設の利活用による誘客促進を図った。【行政】 ・市特産品の普及推進のため、関連団体と連携した消費拡大プロモーションのほか、市特産品を活用した加工品の開発を推進した。【農林畜産事業者等・商工会等・行政】 ・菊池ローイングクラブの設立等により斑蛇口湖ボート場の認知度は高まってきている。今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、スポーツ大会などの開催ができなかったが、関連団体と連携しながら継続的なPRを行い、ボート競技大会の誘致を行った。【観光関連団体・行政】
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・来訪者のニーズを反映させ、更なる磨き上げに取り組むとともに、回遊性の向上及び経済活性化に繋がるよう、「稼げる」観光資源の発掘・磨き上げに取り組むことが重要。

(2) 回遊性を高め滞在時間の延伸を図る

- ①温泉・アウトドア拠点を活用したワーケーションの推進
 【具体的な取組】
 ・テレワークに関するニーズ調査（行政）
 ・テレワークコンソーシアムの設立に向けた検討（行政）
 ・ヘルスツーリズムツアーの販売促進（観光関連団体・行政）
- ②二次交通手段の整備（シェアサイクル（レンタサイクル）利活用、回遊バス運行等）
 【具体的な取組】
 ・既存二次交通手段の利用促進に向けたP R（行政）
 ・持続可能な交通に関する先進事例等の情報収集（行政）
- ③かわまち・もりまち・はなまちづくりの推進 <重点>
 【具体的な取組】
 ・一家一花及びグリーン市民事業の導入に向けた検討（行政）
 ・ガーデニングコンテストの開催（行政）
 ・森まち候補地及び植栽デザインの検討（行政）
 ・迫間川周辺の利活用に向けた検討（行政）
- ④新規飲食店参入の推進や既存店舗の魅力増進
 【具体的な取組】
 ・きくち起業塾の開催（商工会等・行政）
 ・中小企業診断士等による個別相談会の開催（商工会等・行政）
 ・グルメ菊池認証・制度P R（行政）
- ⑤食（酒含む）・温泉を組み合わせたイベントの開催
 【具体的な取組】
 ・関連自治体と連携した「温キャン」イベントの開催等によるプロモーション（行政）
 ・食と温泉をテーマとしたイベント開催の検討（商工会等）
- ⑥集客力ある市民主導型イベントの開催（市内既存施設等の活用）
 【具体的な取組】
 ・市民主導型イベントの開催支援（行政）
 ・ふるさと創生市民広場の利用促進に向けた情報発信（観光関連団体・行政）

◆事業進捗状況と課題

取組み 評価	○（概ね順調）
取組み 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市内民間施設とテレワークに関する包括協定を締結予定。県等と連携を図り、市内テレワーク環境の充実に向けて協議を進めた。また、二次交通の更なる充実に向けて、県立大学と連携して地域公共交通ニーズ調査に取り組んでいる。【行政】 ・一家一花事業のほか、自然環境を大切に自主的に維持管理を行う「グリーン市民」を育成するためワークショップの実施に向け関係各所と調整を行い、ソフト事業による景観整備の推進に取り組んだ。【行政】 ・新規飲食店の参入促進を図るため、第二期「きくち起業塾」の開講のほか、創

	<p>業個別相談会等の開催による支援を行った。【商工会等・行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温泉とキャンプ場を生かした新たなキャンプスタイル「温キャン」による各種プロモーションほか、市内の賑わいを創出するため、市民広場における地域住民等による主催イベントの開催支援等、施設の認知度向上による利用促進を図った。【観光関連団体・行政】
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・かわまち・もりまち・はなまちづくり事業と併せたまちなかの回遊性向上。 ・「グルメ菊池」としてのブランド確立に向けて、グルメ菊池認証制度の認知度向上を図るほか、グルメ菊池申請店舗の増加を促進するため関係部署と連携した取組み推進、食や温泉を組合わせたイベント開催に向けた関係団体との連携が必要。

(3) 本市を支える担い手の育成

① (観光関連) 事業承継者・新規事業者等に対する支援 (補助制度等)

【具体的な取組】

- ・きくち起業塾の開催 (商工会等・行政)
- ・中小企業診断士等による個別相談会の開催 (商工会等・行政)
- ・きくち未来創造塾の開催 (商工会等・行政)
- ・空き店舗等を活用したチャレンジショップの整備 (行政)
- ・市内企業間の連携推進に向けたビジネスサロンの開催 (行政)

② 市民ガイドの発掘・育成

【具体的な取組】

- ・おもてなしスキル向上に向けた研修会の開催 (観光関連団体・行政)
- ・新たな市民ガイドの発掘及び育成 (観光関連団体・行政)
- ・「菊池観光案内人の会」活動に関する情報発信 (観光関連団体)

③ 移住・関係人口施策と絡めた担い手誘致

【具体的な取組】

- ・菊池一族を切り口とした交流会等のイベント開催 (行政)
- ・お試し住宅等を活用したお試し体験ツアー及び相談会の開催 (行政)

④ 地元学生の就業支援 (職場体験の受入等)

【具体的な取組】

- ・就労無料相談会等の実施 (行政)
- ・市内3高校を対象とした工場見学等の実施 (行政)
- ・職場体験 (わくわくキッズジョブ) の実施 (商工会等)

◆ 事業進捗状況と課題

取組み 評価	○ (概ね順調)
取組み 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・事業承継者及び新規創業者を支援するため、事業承継、新規創業相談会、就職相談会を継続的に開催したほか、創業支援事業「きくち起業塾」による伴走支援、「チャレンジショップ」の取組み推進、「きくちビジネス交流会」の開催、産官学金の連携による「きくち未来創造塾」を開講し、後継者人材育成及び人的交流機会の創出を図った。【商工会等・行政】 ・関係人口の創出と併せて新たな担い手・将来的な移住者を確保するため、全国のきくちさんサミット、菊池市しごと見学ツアー等の開催に向け、関係各所と協議を重ねた。【行政】
課 題	・市内を案内できるガイドの掘り起しが必要。

3. 継続する力

(1) シビックプライドの醸成

①市内小中高生向け地域を知る授業の実施

【具体的な取組】

- ・市内小中学校における伝統芸能鑑賞会の開催（行政）
- ・本市歴史文化に関する生涯学習出前講座の開催（行政）
- ・菊池一族パネルの巡回展示（行政）
- ・小学生を対象とした農業体験の開催（農林畜産事業者等）

②まつりの魅力化・関心度向上

【具体的な取組】

- ・地域住民の参画促進に向けた検討（行政）

③まち全体でもてなす機運の醸成（観光について学ぶ機会の創出等） <重点>

【具体的な取組】

- ・観光関連事業者を対象としたおもてなし研修会の開催（商工会等・行政）

④市民ガイドの発掘・育成【再掲】

◆事業進捗状況と課題

取組み 評価	○（概ね順調）
取組み 状況	・本市ならではの歴史文化（菊池川流域日本遺産、菊池一族）に関する出前講座等の開催、小学生を対象とした食農教育の推進に取り組んだ。【行政・農林畜産事業者等】 ・地域住民が自ら参画し楽しむことができるまつりとするため、参画しやすい仕組みづくりや、まつりのあり方について関係団体と協議を重ねた。【行政】 ・観光関連事業者をはじめ、まち全体でもてなす機運を醸成するため、観光関連事業者への協力依頼、おもてなしセミナーの企画内容の検討、他地域の取組みについて情報収集を行った。【行政・商工会等】
課題	・本市の魅力や文化を知り、親しむ機会の拡充。

(2) 受入環境の整備

① 観光案内看板の整備（ピクトグラムの活用等）

【具体的な取組】

- ・多言語解説文の作成及び情報発信媒体の整備（行政）
- ・観光標識への日本遺産ロゴマークの掲示推進（行政(県)）
- ・自転車通行空間の整備（行政(県)）

② 安全に観光できる基盤の整備（災害時情報発信等）

【具体的な取組】

- ・市ＨＰのリニューアルを通じた行政情報の一元化（行政）
- ・各区からの要望に基づいた道路の維持整備の推進（行政）

③ 観光施設等の利便性向上（キャッシュレス決済導入、Wi-Fi 整備、多言語対応、トイレ洋式化等）

【具体的な取組】

- ・多言語解説文の作成及び情報発信媒体の整備（行政）
- ・市内物産館の施設整備（行政）
- ・市内店舗のキャッシュレス決済導入促進支援（商工会等・行政）

④ まち全体でもてなす機運の醸成（観光について学ぶ機会の創出等）【再掲】

⑤ 菊池温泉の魅力化（景観整備等）【再掲】

◆ 事業進捗状況と課題

取組み 評価	◎（順調）
取組み 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産ロゴマーク付きの道路案内標識の設置推進、菊池・山鹿地域自転車ネットワーク計画に基づく道路整備、菊池渓谷を中心とした観光資源の多言語解説文整備の推進等、インフラ整備を推進した。【行政・行政（県）】 ・来訪者の利便性向上のため、地域応援キャッシュレス事業等による市内店舗のキャッシュレス化の促進支援を図ったほか、市内物産館施設等の利便性向上を図るため適正に修繕を実施した。【行政・商工会等】
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・来訪者の誰もがストレスなく本市観光を楽しむことができるよう観光関連団体等と連携して受入環境の整備を拡充させていくことが重要。

(3) 観光推進体制づくり

- ① DMO設立の検討
 - 【具体的な取組】
 - ・まちおこし会社先進地の情報収集及び意見交換等の実施（行政）
 - ・観光戦略会議におけるDMO設立に向けた検討（行政）
- ② 観光事業者等の主体性づくり（観光人材育成）
 - 【具体的な取組】
 - ・観光事業者向けのおもてなし研修の開催（行政）
- ③ 観光関連事業者等における定期的な意見交換機会の創出
 - 【具体的な取組】
 - ・観光関連事業者等との定期的な意見交換の開催（行政）
- ④ 観光分野における民間人材の活用
 - 【具体的な取組】
 - ・民間人材の活用による旅行商品の造成・販売、プロモーションの強化（行政）
- ⑤ まち全体でもてなす機運の醸成（観光について学ぶ機会の創出等）【再掲】
- ⑥ 集客力ある市民主導型イベントの開催（市内既存施設等の活用）【再掲】

◆ 事業進捗状況と課題

取組み 評価	◎（順調）
取組み 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・民間主導によるまちおこし会社の設立に向けた機運醸成のため、市民を交えたまちづくり交流会開催に向け、関係各所と協議を進めた。【行政】 ・観光分野における民間人材を活用し、市外旅行会社6社と情報交換会を定期開催したほか、本市への誘客促進を目的とした旅行会社向けモニターツアーを実施した。また、県観光連盟や関係団体と着地型旅行商品造成に向けた協議を重ねた。【行政】 ・市内の賑わいを創出するため、地域住民等による主催イベントの開催を支援したほか、ふるさと創生市民広場で開催されるイベントを各種媒体で周知し、施設の認知度向上及び知名度向上による更なる利用促進を図った。【観光関連団体・行政】
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の稼ぐ力を引き出すとともに、「観光地経営」の視点に立った地域活性化の仕組みを検討すべく、具体的な方向性を関係団体と意見交換する機会を重ねていく必要がある。